



輝け！OKB516



470名+教職員46名

応援合戦がもたらしたもの

校長 山本 邦彦

「一人一人が星のように輝き 団結して楽しい運動会にしよう」のスローガンのもと、5月28日（土）に行った運動会は、大久保っ子一人一人が輝いた素晴らしい運動会となりました。個人走や団体競技、リレー等、最後まで諦めずに競技に励む姿や自分の役割を確認して進んで係の仕事に取り組む姿から、「楽しい運動会にするぞ」という子供たちの思いが伝わってきました。どの種目も熱戦で見どころいっぱいでしたが、何といても各団の力が一つになった応援合戦に胸が熱くなりました。当日の素晴らしい演技は、そこに至るまでの苦労を乗り越えた努力の賜物でした。

「全校児童による応援を再開したい」という体育主任の思いから始まった応援合戦。限られた時間の中でどのようにプログラムに組み入れるのか、全校児童が全体の動きを覚えることができるのか、また、全校児童による応援合戦の経験のない6年生は構成を考慮することができるのか等、課題はたくさんありました。初めての全校児童そろっての全体練習で、「もっと声を出して。」「分かりましたか。」「など声を張り上げ指導する6年生の姿は、まだ、ぎこちなく、不安気な様子でした。全校児童に分かりやすく伝えることの大変さを痛感したのではないかと思います。雨の日も重なり、思い通りに練習が進まない様子から、「大丈夫かな」と少し心配になってきました。その後、担任の先生方からのアドバイスや激励に真剣に耳を傾け、自分たちで話合いの時間を見付けながら全体の構成や下級生へ指導の仕方を再確認し、その方向性がようやく決まってくると少しずつ自信も芽生えてきました。しかし、翌日はもう予行練習。予定では応援全体練習最終日となっていました。閉会式の練習が終わり、最後の応援練習。各団何とか最後まで全体を通した形で終わることができ、「よくここまで盛り返すことができたな。」と内心「ほっ」としました。そんな中、予行練習を終えた後の昼休みに、各団の応援団長全員が校長室に、「応援合戦の練習時間をください」とお願いにきました。「全校児童の気持ちをもっと一つにすることが出来ますか」と尋ねると、「はい、頑張ります。よろしく願いします」と答えました。前を見据えた眼差しからは、ここまで作り上げてきた応援を絶対に成功させたいという思いが伝わってきました。実は、「このままで終わるのはもったいないな」と感じていた私の気持ちも一致して、うれしく思いました。その後、5・6年合同練習でお互いの頑張りにエールを送り士気を高め合う子供たち。本番前日の最後の練習は、各団、今までとは見違えるほど団結した応援で、どの顔にも自信と笑顔が溢れていました。そして、本番当日の様子は、観客の皆さんがご覧になった通り、最高のパフォーマンスとなりました。

今回の応援合戦を通して、運動会全体の盛り上がりもさることながら、並々ならぬ努力と苦労を体験した6年生は大きな達成感を味わうことができました。また、その姿に一生懸命応えようとする下級生や過程を共有した5年生からは一体感や憧れを感じ取ることができました。何より運動会後にも、自分の団の応援歌を他の団に負けじと口ずさむ光景がたくさん見られ、微笑ましく思いました。

今後も大久保小学校の教育活動において、一人一人が輝き、成就感を味わうことができるよう子供たちをサポートしてまいりますので、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。